

# なまら危ないベさ！戦争法案！ No. 12

全北海道教職員組合・2015年7月18日

## 私たちの意思表示「全国教職員投票」

# 34,000人が参加 思い広がる！



あいさつする全教蟹澤委員長

7月16日（木）、全教は参議院議員会館内で、6月下旬からとりくんできた「全国教職員投票」の1次集約結果をマスコミに公表しました。

院内集会の開会にあたり、全教蟹澤（かにさわ）委員長は、前日の「戦争法案」特別委員会強行採決にふれ、強く抗議の意思を表明しました。そして、「このたたかいを通して、『教育は平和と友情を築くためのいとなみであり、決して戦争とは相容れない』『私たち教職員は、戦争に荷担（かたん）しない』『教え子を再び戦場に送らない！』の思いが広がっている。ともにこの憲法違反の法案の廃案

に向け、全力を尽くそう！」とよびかけました。

続いて、投票の「中間まとめ」について全教小畑書記長から報告がありました。



概要を報告する全教小畑書記長

2015年7月15日現在

投票数：34,869枚 賛同数（〇をつけた数）：33,981枚

職場数：34都道府県 2,559校（幼・小・中・高・特支）

投票からわかったことは、「所属組合の違いを越えて『戦争法案』NO！の意思が広がっている」「管理職も含め、職場全員が参加してくれた」「〇をつけるだけでなく、ひとこと欄に自分の思いをびっしり書いてくれた」など、憲法9条を守り、「平和を広げる国」を子どもたちに手渡したいとの強い意志が伝わるものであったということでした。

最終〆切である7月末日に向けて、さらに幅広い教職員に意思表示をよびかけましょう！全教ホームページ（<http://www.zenkyo.biz/>）から投票用紙をダウンロードすることができます。不足の場合はそちらから入手してください。実施後は直ちに投票用紙をまるごと道教組に送ってください。集計して全教に送ります。

なお、寄せられた声は、24日（金）の中央行動での「議員要請」に活用します。